



森嶋和明 議員

「飛騨美濃じまんの原石」に指定された池田山を中心とした観光開発の今後の予定、計画は



ふれあい街道からスポーツ公園を望む

池田温泉を核として進められてきた池田町の観光宣伝、誘客活動は「池田温泉道の駅」のオープンにより一歩前進し、池田山を含め、ふれあい街道を経て、揖斐、大野、本巣へとつながっていく「西美濃夢街道」構想が見えてきました。池田町、揖斐川町、大野町、本巣市の3町1市が連携してこの活動の今後の展開、計画は。

町長

「西美濃夢街道推進協議会」は「西美濃夢源回廊協議会」として発足した。3町1市がお互いに連携をとりながら大きな資源の有効活用を図っていききたい。池田町としては、片山から舟子地区に至るふれあい街道を中心に、池田温泉周辺をリフレッシュする部分として、「余暇の森」霞間ヶ溪周辺は、運動とレクリエーションの場として「交流の森」、

大津谷周辺は古墳群等があることから、「学習の森」とし、レジャー等を含めて登山道を3ルート考え「名勝の森、池田の森」という4つの森構想を思い進めてゆきたい。

ふれあい街道の観光バスの運行について、案内標識の不備、道路の不備や景観を誇る桜の木の対応は。

町長

願成寺古墳群地域は県指定の文化財となっており難しい。クラック部分は少し拡幅してゆく。禅蔵寺の桜は切らない道のルートを替えての対応を考えていく。

看板等は相当古い物があり全体的に整備していく。



ふれあい街道禅蔵寺桜並木通り

産として残る。バドミントン競技の受け入れにより池田町としてのスポーツの向上と民泊による地域の連携が強くなり、まちづくりの一環としてよくなると考えている。

町長

岐阜清流国体のバドミントン競技一種目の受け入れに対し、町の負担経費とその内容は。

24年度として約1億円が必要と思っている。その内約3分の2くらいは町の負担と試算している。各地区の公民館の整備や、町としての施設の整備も進められ、これらは資